

本学と自治体・産業界等との協定に基づく連携実績一覧

(令和2年度)

協定先	協定書名	締結年月日	締結内容	事業実績等
名張市	名張市と皇學館大学との連携に関する協定書	平成19年3月19日	(1)地域文化の振興 (2)福祉の推進 (3)生涯学習 (4)地域の活性化 (5)快適環境の創造 (6)その他必要な事項	⇒各種委員・講師等の教員派遣 ・のべ14名(名張市社会教育委員、市史編さん委員会委員など) ⇒インターンシップ受け入れ(名張市地域経営室):1名 ⇒ふるさと講座の実施 ・「古代天皇と名張(令和2年9月12日)」、「名張の言葉(令和3年2月6日)」 ⇒地域子育て支援拠点施設担当者研修(リスクマネジメント研修):教員1名 ⇒これからの図書館について考えるシンポジウム:教員1名・学生1名(講師、コーディネーターとして) ⇒学生ボランティア:保育補助等で学生1名受け入れ ⇒CLL活動:ぱりっ子会議から市政への提言プロジェクト(学生6名)
伊勢市	伊勢市と皇學館大学との連携に関する協定書	平成20年7月11日	(1)地域文化の振興 (2)福祉の推進 (3)生涯学習の振興 (4)地域の活性化 (5)環境の保全・再生 (6)教育の充実 (7)その他必要な事項	⇒各種委員・講師等教職員派遣 ・各種委員のべ42名(伊勢市観光地混雑状況配信システム導入業務受託者選択委員など) ・講師派遣のべ8名(伊勢市生涯学習センター講座など) ⇒伊勢市と皇學館大学との包括連携協定に基づく定期連絡会議:令和3年2月3日/鈴木市長、河野学長ほか ⇒受託事業 ・外国人短期留学生招聘及び情報発信事業「伊勢と日本スタディプログラム」(産業観光部):令和3年3月8日～3月21日間/スペイン、ジョージア、リトアニア、米国の9か国から外国人大学院生等10名参加 ・ラオス応援メッセージ動画作成業務(観光振興課):令和2年7月10日～令和3年1月31日 ⇒講師:伊勢市長 ・1年次必修科目「伊勢志摩共生学」の1コマ「自治体と行政サービス」(企画調整課):履修者数742名 ⇒ゲストスピーカー ・伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅰ(企画調整課、産業観光部) ・伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅱ(市民交流課) ⇒インターンシップ受け入れ(情報政策課):10名 ⇒支援:建物の無償貸与「地域活動拠点スペースの無償提供」 ・うじやまだ駅前横丁内「まちなか研究室」 ⇒伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議 委員(企画調整課) ⇒学生CLL(Community Learning Labo)活動 ・以下、活動名・(実施主体名)・学生参加者数 ①ハビふるプロジェクト～とっておきの居心地づくり～(伊勢市社会福祉協議会):3名 ②みんなの声を聞くには?プロジェクト(伊勢市議会):3名 ③若者の投票率UP!プロジェクト(伊勢市選挙管理委員会事務局):7名 ④着ぐるみ(伊勢まいりん)を使用した伊勢市観光事業のPR活動(公益社団法人伊勢市観光協会青年部):4名 ⑤「広報いせ」特集記事制作PJ(伊勢市広報広聴課):15名 ⑥若者へのゴミ分別啓発!!(環境生活部清掃課):9名 ⑦The Histories of Ise 行政文化資源の利活用(伊勢市教育委員会文化振興課):2名 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。 ・総合型地域スポーツクラブ合同体験教室(教育委員会スポーツ課) ・教育支援ボランティア(教育委員会学校教育課) ・教育学部生による小学校の出前講座、環境フェアへの参画⇒理科(環境課)、国語(教育委員会) ・保育園等での子育て支援活動(こども課)
みえ熊野学研究会	協定書	平成20年4月21日	(1)研究会の目的(東紀州地域のための官民協働の地域額シンクタンクとして地域内外の研究者等をネットワーク化し、調査研究しその成果を広く発表する)の達成。 (2)大学の教育活動、調査研究活動 (3)巡回講座、出前授業をはじめ各種活動など生涯学習の充実 (4)施設の利用 (5)必要と認める事項	⇒特記事項なし
三重県立博物館	皇學館大学と三重県立博物館との連携に関する覚書	平成24年12月25日	(1)三重県の文化振興における重要なパートナーとして、相互に連携協力する。 (2)双方に連携協力・連携調整の窓口を設置し、連携協力体制を構築する。 (3)双方が有する知的資産と、県内外の関連する歴史・文化資産の保全及び活用方法について協議及び試行を行う。 (4)その他、双方の相互発展に関する事項について協力する。	⇒三重県総合博物館へ
三重県社会福祉協議会	皇學館大学と三重県社会福祉協議会との連携に関する協定書	平成25年2月15日	(1)地域福祉推進活動に関すること (2)地域福祉を担う人材の育成に関すること (3)新たな地域連携のモデル構築に関すること (4)その他前条の目的を達成するために必要と認められる事項	⇒各種委員・講師等の教員派遣 ・2名 ・委員:三重県社会福祉協議会第三者委員、福祉サービス運営適正化委員会委員 ・講師:成年後見スキルアップ研修、地域福祉実践力向上研修、生活支援コーディネーター実践者研修 ・委員・ファシリテーター:成年後見推進に向けた課題解決会議 ・審査員・アドバイザー:地域福祉活動ステップアップ支援事業

本学と自治体・産業界等との協定に基づく連携実績一覧

(令和2年度)

協定先	協定書名	締結年月日	締結内容	事業実績等
明和町	皇學館大学と明和町との包括連携に関する協定書	平成25年3月25日	(1)地域の歴史や文化の振興に関すること。 (2)地域の活性化に関すること。 (3)教育の充実に関すること。 (4)福祉の推進に関すること。 (5)その他前条の目的を達成するために必要と認められること	⇒伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議 委員(まちづくり戦略課) ⇒学生CLL(Community Learning Labo)活動 ・産学官連携日本酒プロジェクト:学生24名
公益財団法人 三重こどもわかもの育成財団	学校法人皇學館 皇學館大学と公益財団法人三重こどもわかもの育成財団との連携に関する協定書	平成25年11月1日	(1)乙における児童・青少年の育成推進活動に関すること (2)甲及び乙における児童・青少年の育成を担う人材の育成に関すること (3)甲における課題解決学修やインターンシップ等を通じた人材の育成に関すること (4)その他前条の目的を達成するために必要と認められる事項	⇒学生ボランティア ・アート工作企画補助、遊具遊び見守り等:月に1~2回程度 学生2名 ⇒インターンシップ受け入れ(令和2年8月4日~8月25日のうち10日間) 1名
三重銀行 三十三総研	皇學館大学と三重銀行及び三重銀総研との人材育成に関する連携協定書	平成25年11月19日	(1)大学における地域課題解決学修(講師派遣・科目提供・実習施設紹介等)やインターンシップ(派遣先紹介等)等を通じた人材育成に関すること (2)大学の教育課程編成に係る地域ニーズやグローバル化を踏まえた提言に関すること (3)地域の活性化・地域産業の振興に関すること (4)地域連携のモデル構築に関すること (5)その他前条の目的を達成するために必要と認められること	⇒講師及び教育プログラムの提供(産学協働講座の開講) ・「グローバル化と地域の経済社会」(春学期):受講学生数135名 ・「伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅲ」(秋学期):受講学生数92名 ・「伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅳ」(春学期):受講学生数81名 ⇒インターンシップセミナー等(14回開催)、参加学生数のべ35名 ⇒学内業界・企業説明会 ・参加企業21社、参加学生数107名
百五銀行 百五総合研究所	皇學館大学と百五銀行及び百五経済研究所との連携協定書	平成25年11月21日	1)大学における地域課題解決学修(講師派遣・科目提供・実習施設紹介等)やインターンシップ(派遣先紹介等)等を通じた人材育成に関すること (2)大学の教育課程編成に係る地域ニーズやグローバル化を踏まえた提言に関すること (3)地域の活性化・地域産業の振興に関すること (4)地域連携のモデル構築に関すること (5)その他前条の目的を達成するために必要と認められること	⇒産学協働講座の実施 ・「地域再生論」(専門科目「地域創生」春学期2単位)、外部有識者を講師として招き、実施 ⇒インターンシップ受け入れ ・期間:令和2年8月~令和3年2月 ・人数:25名 ⇒学内業界企業説明会の実施
三重県農業大学校	皇學館大学と三重県農業大学校との間における教育研究交流に関する協定書	平成25年12月24日	(1)講義、実習及び共同研究等の実施とこれに伴う、学生、教員の交流 (2)大学と大学校が相互に関心を有する分野における人材養成及び人材交流 (3)その他大学と大学校が共に、本協定の目的を達成するために必要と認められた事項	⇒講師及び教育プログラムの提供 ・「作物栽培学講義」(専門科目半期2単位):受講学生数:7名 ・「作物栽培学実習」(専門科目半期1単位):受講学生数:5名 ⇒講師派遣 2名 ・科目名:「文学」 受講学生数:25名 ・科目名:「現代社会と文化」 受講学生数:26名
三重県総合博物館	皇學館大学と三重県総合博物館との相互協力協定書	平成26年2月26日	(1)双方の知的資産を活用し、三重に関連する地域資源の探求・保存継承・活用発信を行うこと (2)双方の知的資産、および三重に関連する地域資源を活用し、次世代を育成する活動を行うこと (3)双方が持つ知的資産を、相互に利用しやすくする取組を実施すること (4)他大学や園館、および関連ある団体とも連携を推進していく取組を実施すること (5)その他、両者が必要と認めること	⇒大学の学芸員養成課程への講師派遣および実習の受け入れ ・「博物館概論」、「博物館実習Ⅰ」、「博物館資料保存論」、「博物館資料論」の4科目:受講参加学生数のべ159名 ・「古文書学」、「博物館教育論」の2科目は中止 ⇒共同研究 ・銅鐸調査 ⇒ワークショップ ・「総合分野の連携」および「自然分野の連携」は、中止 ⇒教育学部研究部会 ・講演演題「能動的な学びとは」、「これからの理科教育」(令和2年12月26日):参加者数40名 ⇒フォーラム ・みえむ未来創成フォーラム2020「学校と地域連携」中間発表会(令和2年10月24日):参加者数58名 ・MieMuフォーラム「三重の宝物」(令和3年3月7日):リモート参加者数325名、会場参加者数70名 ⇒インターンシップ受け入れ ・企画展時の準備作業の補助(5日間):中止
第三銀行	皇學館大学と第三銀行との地域活性化と人材育成に関する連携協定書	平成26年3月20日	(1)大学における地域課題解決学修(講師派遣・科目提供・実習施設紹介等)やインターンシップ(派遣先紹介等)等を通じた人材育成に関すること (2)大学の教育課程編成に係る地域ニーズやグローバル化を踏まえた提言に関すること (3)地域の活性化・地域産業の振興に関すること (4)地域連携のモデル構築に関すること (5)その他前条の目的を達成するために必要と認められること	⇒皇學館大学学部教育課程の質的転換に関わる産業界等との連絡協議会の開催 ⇒令和2年2月24日 ⇒インターンシップ受け入れ 19名
一般財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	協定書	平成26年6月23日	1)人的分野及び教育的分野での連携 2)オリンピック・パラリンピック競技大会に関わる研究分野での連携 3)オリンピック・パラリンピック競技大会の国内PR活動での連携 4)オリンピックムーブメントの推進及びオリンピックレガシーの継承に関する連携	⇒公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ホームページ内「大学連携」掲載 https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/university/
三重県 伊勢赤十字病院	三重県と伊勢赤十字病院及び皇學館大学とのEPA(経済連携協定)に基づく外国人看護師候補者への支援に関する連携協定書	平成26年8月25日	(1)外国人看護師候補者の日本語教育に関すること (2)外国人看護師候補者の乙における就労研修に関すること (3)外国人看護師候補者の看護師国家資格取得に向けた支援に関すること (4)外国人看護師候補者受け入れ施設(乙)の研修体制整備に関すること (5)その他前各号の目的を達成するために必要と認められること	⇒特記事項なし

本学と自治体・産業界等との協定に基づく連携実績一覧

(令和2年度)

協定先	協定書名	締結年月日	締結内容	事業実績等
公益財団法人 三重県文化振興事業団	公益財団法人三重県文化振興事業団と学校法人皇學館 皇學館大学との生涯学習振興に関する連携協力協定書	平成27年3月5日	(1) 三重県の生涯学習振興の支援に関する事 (2) 専門性を活かした高度な学習機会の提供に関する事 (3) 学校教育活動等における支援に関する事 (4) インターンシップ等就業体験の受け入れに関する事 (5) 各種会議等への有識者派遣に関する事 (6) その他前条の目的を達成するために必要と認められる事	⇒講座開催 ・みえアカデミックセミナー2020 ・『日本書紀』と『古事記』(令和2年7月17日/三重県総合文化センター内会場):受講者数34名 ・三重県生涯学習センターとの連携協定事業 ・三重県生涯学習センター×皇學館大学×鳥羽市(中止) ・NIPPONの原点を学ぶ三重の魅力発信セミナー(中止) ⇒各種委員・講師等の教員派遣:5名 ⇒インターンシップ受け入れ 0名(施設利用サービスセンター・文化会館・M祭!2020(Mコレ!ミエ・リトル・コレクション)中止のため) ⇒みえミュージアムセミナー ・『日本書紀』に学ぶ 撰上千三百年に寄せて(令和2年9月10日/三重県総合文化センター内会場):受講者数50名
三重県教育委員会	皇學館大学と三重県教育委員会との連携協力に関する協定書	平成27年3月20日	(1) 大学における教員養成の充実に関する事 (2) 相互の教職員の資質能力の向上に関する事 (3) 相互の教育活動への支援に関する事 (4) 高校教育と大学教育との接続に関する事 (5) 学校における体育・スポーツの支援に関する事 (6) 社会教育の充実及び文化財の保護に関する事 (7) その他大学と教育委員会が必要と認める事項	(1) 大学における教員養成の充実に関する事 ① 大学生等の教育アシスタント活用事業の実施及び紹介等 ⇒前期は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。後期(10月1日~3月15日)は49名の学生が参加 ⇒大学が実施する学生向けの教育アシスタント活動の紹介やPRの場は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ② 教育実習事前指導の実施⇒新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ③ 教員採用選考試験説明会の実施(2回)⇒令和2年5月19日、11月11日(各約150名程度が参加) (2) 相互の教職員の資質能力の向上に関する事 ① 教員の講師招聘 のべ5名(受講者数のべ123名) ② 社会教育関係者のための基礎研修会講師1名(受講者数28名) (3) 相互の教育活動への支援に関する事 ① 英語教育改革加速事業におけるモデル校への指導、助言(5回) ② ワンペーパー・コンテスト審査員派遣(1名) ③ 高等学校における通級による指導に係る助言依頼(教員1名、3回) ④ 英語実践事例集に係る執筆、監修依頼(1名) ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ⇒高等学校の専門学科での取組へのアドバイス/高校生によるビブリオバトル大会の共催/各種行事等への協力/2020高校生地域創造サミット/学校や公民館等における教育支援 (4) 高等教育と大学教育との接続に関する事 ⇒特記事項なし (5) 学校における体育・スポーツの支援に関する事 ⇒特記事項なし (6) 社会教育の充実及び文化財の保護に関する事 ① 三重県文化財保護審議会委員⇒教員2名(2回) ② 三重県文化財保存用大綱策定部会⇒教員2名(1回) ③ 三重県社会教育委員会委員⇒教員1名(3回) ④ 埋蔵文化財専門担当者会議参加⇒教員1名(1回)、参加者24名 (7) その他 ① 大学等への出土資料の貸出協力⇒新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし
伊勢商工会議所	皇學館大学と伊勢商工会議所との連携協定書	平成27年6月30日	(1) 地域産業の振興及び創出による地域の活性化・雇用機会の増大に関する事 (2) 甲における地域課題解決学修やインターンシップ等を通じた人材育成に関する事 (3) 起業の促進、起業家の育成に関する事 (4) その他前条の目的を達成するために必要と認められる事	⇒皇學館まちなか研究室の開設 ・産学官連携定例会議(月1回) ⇒学生CLL(Community Learning Labo)活動 ・伊勢やまだ地方創生まちづくりゼミ:学生7名参加 ・伊勢移住PR支援プロジェクト:学生3名参加
三重県 医療法人 田中病院	三重県、医療法人田中病院及び皇學館大学とのEPA(経済連携協定)に基づく外国人看護師候補者への支援に関する連携協定書	平成27年11月9日	(1) 外国人看護師候補者の日本語教育に関する事 (2) 外国人看護師候補者の乙における就労研修に関する事 (3) 外国人看護師候補者の看護師国家資格取得に向けた支援に関する事 (4) 外国人看護師候補者受け入れ施設(乙)の研修体制整備に関する事 (5) その他前各号の目的を達成するために必要と認められる事	⇒外国人看護師国家資格取得に向けた日本教育支援の実施 ・教育開発センターにて、ベトナム人4名を受け入れられて日本語教育支援を継続的に実施
鳥羽市	皇學館大学と鳥羽市との包括連携に関する協定書	平成28年1月27日	(1) 地域の歴史や文化の振興に関する事 (2) 地域の活性化に関する事 (3) 教育の充実に関する事 (4) 福祉の推進に関する事 (5) その他前条の目的を達成するために必要と認められる事	⇒各種委員・講師等の教員派遣 ⇒のべ4名(鳥羽市第六次総合計画審議員など) ⇒学生ボランティア ・子どもの学習支援事業学習ボランティア(学生8名) ⇒ゲストスピーカー ・伊勢志摩定住自立圏共生学 講師1名(3回)(農水商工課) ⇒伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議 委員(企画財政課) ⇒学生CLL(Community Learning Labo)活動 ・「広報いせ」特集記事制作PJでの「南勢地域広報研究会8市町合同特集」に学生11名が参加 ⇒その他 ・「しあわせのセブントーク」の座談会(学生登壇3名)

本学と自治体・産業界等との協定に基づく連携実績一覧

(令和2年度)

協定先	協定書名	締結年月日	締結内容	事業実績等
鈴鹿市	鈴鹿市と皇學館大学との連携協定に関する協定書	平成28年8月10日	(1)学校教育活動・保育活動等における支援に関すること ・児童生徒の学習意欲の向上 ・一人ひとりの子どもが輝く魅力ある学校・学級づくり ・子どもが元気に育つための家庭支援 ・保育士及び教職員の資質向上 ・児童生徒の心理的ケア ・保育士及び教職員の心理的ケア ・教育ボランティアの受け入れ ・教育実習・保育実習の連携 (2)インターンシップ等就業体験等を通じた人材育成に関すること (3)学生の就職に関する情報提供 (4)前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要と認められること	⇒特記事項なし
玉城町	皇學館大学と玉城町との包括連携に関する協定書	平成29年5月11日	(1)地域の歴史や伝統文化の振興に関する事項 (2)地域の活性化に関する事項 (3)教育の充実に関する事項 (4)福祉の推進に関する事項 (5)地域人材の育成に関する事項 (6)その他前条の目的を達成するために必要と認められる事項	⇒各種委員・講師等の教員派遣 ⇒のべ4名(玉城町権利擁護推進委員会委員など) ⇒受託研究「玉城町明るい未来づくりに関する調査研究」 ⇒伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議 委員(総務政策課) ⇒ゲストスピーカー ・伊勢志摩定住自立圏共生学 I (総務政策課) ⇒インターンシップ受け入れ6名(伊勢志摩共生学実習A) ⇒学生CLL(Community Learning Labo)活動 ・TMKミライデザインプロジェクト(玉城町下外城田明るい未来推進プロジェクト):学生4名参加 ・だんだんお花畑プロジェクト in 玉城町:学生10名参加
南伊勢町	皇學館大学と南伊勢町との包括連携に関する協定書	平成30年8月21日	(1)地域の活性化に関する事項 (2)地域人材の育成に関する事項 (3)教育の充実に関する事項 (4)福祉の推進に関する事項 (5)地域の歴史や伝統文化の振興に関する事項 (6)その他前条の目的を達成するために必要と認められる事項	⇒各種委員・講師等の教員派遣⇒1名(南伊勢高校活性化協議会委員) ⇒ゲストスピーカー ・伊勢志摩定住自立圏共生学 I (まちづくり推進課) ・社会臨床実習「竈方の塩づくり」(まちづくり推進課) ⇒伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議委員(まちづくり推進課) ⇒学生CLL(Community Learning Labo)活動 ・竈方集落(限界集落)デザインプロジェクト ・南伊勢連携日本酒プロジェクト 学生19名参加 ⇒その他 ・宿田曾おかえりみこしプロジェクト 教員1名 ・『2021年 未来!本気!フォーラム in南伊勢』令和3年2月20日 (主催:一般社団法人 未来の大人応援プロジェクト、共催:南伊勢町) 教員1名、学生2名 ・南伊勢町「本気!塾」令和2年11月28日、令和3年1月9日、2月6日 (主催:一般社団法人 未来の大人応援プロジェクト、共催:南伊勢町) 教員1名、学生2名
伊勢市選挙管理委員会及び三重県選挙管理委員会	選挙啓発の連携協定に関する協定書	令和2年7月20日	(1)通常時における選挙啓発に関する事項 (2)選挙時における選挙啓発に関する事項 (3)その他、目的達成のために必要と認められる事項	⇒選挙啓発の連携協定に関する協定を締結 ・令和2年7月20日 ・学生CLL(Community Learning Labo)活動 「若者の投票率UP!プロジェクト」立ち上げ(実施主体:伊勢市、三重県、度会郡玉城町)、学生7名参加
志摩市	COC事業 連携市町			⇒各種委員・講師等の教職員派遣人数:1名 ⇒伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議委員(総合政策課)
度会町	COC事業 連携市町			⇒伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議委員(みらい安心課) ⇒CLL活動「度会カフェリョクプロジェクト」:参加学生数11名
大紀町	COC事業 連携市町			⇒伊勢志摩定住自立圏共生学運営会議委員(企画調整課)